



植物と共に…

大塚りとするぱんぴきんずは、駅ビルにある保育園です。園庭はあるものの土に触れる機会は少ない環境です。そんな環境の中で、出来ないからやらないのではなく出来る事をやろうと、園内には様々な観葉植物を置き、園庭では野菜や花、ハーブを育てています。

植物は子どもと一緒に、純粋に自ら成長する力を持っています。その成長を左右するのは、成長過程の関わり方です。まずはその植物や子どもが持っている「種」がどんなリズムでどんなふうにつかをしっかりと観察していくことが大事になります。芽になって葉を茂らせていく様子を見ながら、大人は不足分を補うだけで良いのです。余計なものは逆に成長を妨げることにもなりかねません。

先日、暑さに弱った植物に元気になってもらおうと肥料をあげようと思いました。

まずは、植物をメンテナンスしてくれるかおる先生に相談です。すると、その返事は「NO」。

「人間だって暑さにバテて弱っている時に、パワーが出るからと「焼肉」を与えられるより、涼しい部屋でゆっくり「そうめん」でも食べたいと思わない？そして、元気になって「焼肉」だよ」その答えに、納得です。

植物は太陽が大好きです。だからと言って、24時間、太陽が当たっていれば枯れていきます。

日が当たるときもあれば、闇となる時間もあって、成長を高めているのです。

子どもも一緒です。子どもが一人で出来ることもあれば、そうでない時にもある。

そうでない時に大人が手助けしすぎてしまえば、その成長を高めることは出来ないのです。

そして植物にとって大事なものは土。一見見えないけれど、土にこそ育てるための力が潜んでいます。

見えないところで支えるということも子育てには大切なことです。親として、本来持っている力を素直に発揮させてあげること、そしてそれを信じる事ができれば、きっとそれぞれの素晴らしい種が素敵な花を咲かせてくれることになると思います。それでは園の植物を紹介します♪

【園で育てている多肉植物…子宝草（子宝弁慶草）】



葉の先に子株をつけて増やしていきます。

名前の通り、たくさんの子株が出来るので子宝草と呼ばれています。

園でもたくさん増やし、姉妹園にお譲りしました。

実際に子どもが子株を土に植え育てている様子です。成長が早く、目に見えるので子ども達も喜んで霧吹きをしながら大切に育てています。



← 乳児クラスでは、お当番活動で『タイムの水やり』を入れています。

こうやって、植物と共に…今後も子ども達と一緒に成長していく環境を整えていきたいと思います。

(橋本 美香)

